



しばた議会だより



(船岡中学女子校剣道部)

気合いを込めて メ〜ン!

- 「いじめ」ストップ! 2~3
- 槻木・船岡地区雨水対策工事を追加..... 4
- プレミアム商品券販売に大行列 5
- 議員の本会議出欠状況・議案などの審議結果 5
- ここが聞きたい 16議員が一般質問 6~14
- 常任委員会レポート 15
- 町民の声を聞く・議会懇談会 16~17
- 「追跡」あれはどうなった? 18~19
- あなたの一言(佐藤 恵理さん) 20

「ストップ!」

詳細を審議

6月会議は、6月8日から11日まで、4日間開催されました。

専決処分として、町道富沢16号線道路改良工事請負変更契約などの報告が18件、柴田町いじめ問題対策連絡協議会等条例などの議案11件について審議した結果、原案のとおり可決されました。一般質問は16人の議員が行い、項目総数は33件でした。

いじめ問題対策連絡協議会

地域におけるいじめの防止に関する団体の連携を図るため、7月1日から設置することとなりました。

いじめ問題について、町教育委員会では、今まで生徒指導問題対策会議やいじめ問題対策委員会に対処してきました。さらに条例で協議会を設置し、いじめ防止対策を強化します。

いじめ問題だけを話し合う

質疑 生徒指導問題対策会議といじめ問題対策連絡協議会との違いは。

答弁 いじめ問題対策連絡協議会は、いじめ問題だけを話し合う。いじめ以外のことについては、生徒指導問題対策会議を今後も存続し、暴力や、いじめ、不登校などについての会議を持つ。

年に2〜3回の開催

質疑 いじめがなくても、いじめ問題対策連絡協議会を開くのか。

9月から 幼稚園・小規模保育・家庭的保育の利用者負担額が変わります

子ども・子育て支援新制度のスタートにより、保育料は、国が定める上限額の範囲内で、それぞれの町が決めます。保育料の上限は、おおむね現行の私立幼稚園・保育所の実質的な利用負担の水準と同程度になります。



笑顔がはじける砂遊び（第一幼稚園）

子どもに係る利用者負担額（幼稚園）

区 分		月 額 私立幼稚園	月 額 第一幼稚園
生活保護法による被保護世帯		0円	0円
市町村民税非課税世帯 及び 均等割の額のみ世帯		2,400円 (0円)	2,400円 (0円)
市町村民税 所得割課税額	77,100円未満	9,400円	6,800円
	77,101円以上 211,200円以下	13,800円	6,800円
	211,201円以上	19,000円	6,800円

多子世帯の保育料の軽減

幼稚園や保育所、小規模保育、家庭的保育をきょうだいで利用する場合、最年長の子どもから順に2人目は半額、3人目以降は無料となります。

- 幼稚園では、年少（3歳）から小学校3年生までの範囲内に、子どもが2人以上いる場合が対象になります。
- 保育所では、小学校就学前の範囲内に、子どもが2人以上いる場合が対象になります。

6月会議

「いじめ問題対策連絡協議会」を設置

「いじ



いじめ問題の窓口となる教育総務課

質疑 今後、いじめ問題が起きたら、どこに連絡をするのか。

答弁 柴田町教育総務課が窓口となり対応する。

教育総務課が窓口

質疑 いじめ問題専門委員会の開催は。

答弁 重大ないじめ問題が起きたら、専門委員会を開催する。数回、開催する場合もある。また、重大ないじめがなくても、年1回は開催する。

重大ないじめ問題が起きたら

答弁 定期的に年2〜3回の開催を考えている。

低所得者の介護保険料を軽減！
平成27年4月から公費を投入

介護保険法施行令が改正され、第1号被保険者のうち、介護保険料の所得段階が「第1段階」に該当する人は、町で定めた基準額 58,800 円に 0.45 を掛けた 26,460 円が保険料の年額となります。



介護保険を担当する福祉課

第1段階	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護受給者 世帯全員が市町村民税非課税で、老齢福祉年金を受給している人または前年の合計所得金額と課税年金収入の合計が80万円以下の人
------	---

■ 柴田町の対応

- 介護保険料の所得段階が第1段階に該当する人は、基準額に乗じる割合を0.5から0.05を引いた0.45とし、軽減強化を図る。
- 軽減対象者：1,338人（平成27年4月1日現在）
- 減額総額：393万4,000円
- 負担割合：国 1/2・県 1/4・町 1/4

第1段階	保険料年額 (円)	計 算 式
現 行	29,400	58,800円 (基準額) × 0.5
改正後	26,460	58,800円 (基準額) × 0.45
減 額	▲ 2,940	

6 月 会 議

槻木・船岡地区雨水対策費などを追加

予算総額136億4,737万円に！

一般会計
7,278万円
増額補正



冬の風物詩 メタセコイアの奇跡！



平成 25 年 9 月 15 日に冠水した槻木郵便局付近

6 月会議の一般会計補正予算は、コンビニ収納対応システム改修委託料、槻木地区雨水対策工事請負費など、総額7千278万円の増額予算で、原案のとおり可決しました。

電飾をLEDに

質疑 コミュニティ助成の補助金内容は。

答弁 槻木地域づくり推進協議会で行うメタセコイアの電飾のLEDへの交換と、西船迫4丁目集会所施設備品の購入費である。

雨水対策工事の内容は

質疑 槻木、船岡の雨水対策工事の説明を。

答弁 槻木地区は、上町排水路から南浦排水路までの区間を追加施工する。船岡地区は、既設水路、既設側溝の勾配コンクリートを打つ工事を行う。

地域おこし協力隊の募集現状は

質疑 入間田地区に地域おこし協力隊を募集することについては、どのようになっているのか。

答弁 非常勤の特別職では、活動に制限があるため、謝金を支払うことで活動の自由度を高める。募集は今、進めている。

2校に設置

緊急地震速報受信機

質疑 槻木小学校と船迫中学校に設置するが、その働きは。

答弁 大きな地震の場合、受信機から警報が出るので、放送設備を使い、校内全てに発信する。



進むコンビニ収納

補正予算の主な事業と予算額

事業名	予算額
コンビニ収納対応システム改修委託	799万円
コミュニティ助成事業補助	460万円
さくらマラソン実行委員会補助	160万円
槻木・船岡地区雨水対策工事	2,850万円
緊急地震速報受信機	120万円
槻木まちづくりの会補助	30万円
番号制度（マイナンバー）システム整備委託	431万円

平成 27 年度補正予算（6 月会議）

会計区分	補正額	補正後の額
一般会計	7,278万円	136億4,737万円
特別会計	国民健康保険事業	47億2,218万円
	公共下水道事業	25億554万円
	介護保険	26億9,247万円

6月会議

買えな〜い！大行列！

販売方法に問題あり！プレミアム商品券

5月30・31日に販売したプレミアム商品券の販売方法や対応について、多くの質疑がかわされました。

深く反省

質疑 購入したい人が殺到することは目に見えていた。住民に迷惑をかけたが、反省しているのか。

答弁 前回の2割増し商品券では売れ残った経緯があり、今回の行列、殺到は想定しなかった。行列も想定した対応も考えるべきだったと、深く反省している。

町と商工会で決定

質疑 プレミアム商品券は、誰が3割増しに決めたのか。

答弁 町と商工会で打ち合わせを行い、両者で決定した。

議員の本会議出欠状況・議案などの審議結果

●本会議の出欠状況

区 分	主 な 内 容	月 日	出席者数	出 欠 状 況																
				平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	斎藤 義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	高橋たい子	安部 俊三	佐々木 守	広沢 真	有賀 光子	水戸 義裕	舟山 彰	白内恵美子	我妻 弘国	星 吉郎
(平成27年度) 6月会議	町政報告、一般質問	6.8	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	6.9	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	6.10	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	条例、補正予算、意見書	6.11	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表します。

●議案などの審議結果

○賛成と反対（賛成しない）に分かれたもの

区 分	件 名	賛 成	反 対	議 決 結 果	表 決 状 況															
					平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	斎藤 義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	高橋たい子	安部 俊三	佐々木 守	広沢 真	有賀 光子	水戸 義裕	舟山 彰	白内恵美子	我妻 弘国
(平成27年度) 6月会議	平成27年度柴田町一般会計補正予算	16	1	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表します。
 ※「議」は表決時に議長のため、表決に参加していないことを表します。



○全員が賛成したもの

区 分	件 名
(平成27年度) 6月会議	村田町の学校給食に関する事務の受託の廃止
	柴田町いじめ問題対策連絡協議会等条例
	柴田町子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例
	柴田町介護保険条例の改正
	柴田町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の改正
	柴田町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の改正
	柴田町指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の改正
	平成27年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算
	平成27年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算
	平成27年度柴田町介護保険特別会計補正予算
ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書	

意見書を採択

ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書

提出者 白内恵美子

賛成者 広沢 真
水戸 義裕

一般質問



平間奈緒美 議員

Q マラソンコースとなる路上整備は

A 予算の範囲内で整備していく



初めて行われたハーフマラソン（柴田さくらマラソン大会）

問 初めて路上で行われたハーフマラソン。生活道路の改修にもなる道路整備が必要だが、整備計画は。

町長 コースを検証し、また、関係団体の指導を受けて、安全確保の対策を見直していく。危険のため整備が必要な場所は、予算の範囲内で対応していく。

問 河川敷への新たなランニングコースの設置に向け整備しては。

町長 概木、船迫、船岡に5つのウォーキングコースを設置している。距離表示もあるので、ランニングコースとしても利用できる。当面の間は、ウォーキングコースを利用していたきたい。

問 5ヶコースは、河川敷を整備すれば安全なコースとなる。整備について問う。

スポーツ振興課長 河川敷の整備が可能か、関係機関と協議する。

問 マラソン大会は経済効果も期待でき、継続していくことが必要。町の支援体制は。

町長 大会を継続することがある。町に大きな効果がある。まちづくりの担い手づくりにもなり、協働事業として全面的に支援してきた。関係団体と実行委員会が継続実施で合意されれば、町はこれまで以上に側面から支援する。

Q 特定健診の受診率アップのために



吉田和夫 議員

A 検討会を開催し、受診率の向上を図っていく

問 2年前に、特定健診の受診率アップのために健康ポイント制度を提案し、実現させた。現在では、申し込み者が3千人を超えている。

しかし、受診率の目標値には、まだまだ険しい道のりである。

平成24年度の柴田町の受診率は35・2割で、県内で下から3番目である。個人負担の料金体系はこれで良いのか。

町長 県内の受診率上位の自治体は、個人負担

が無料となつていたりが多い。一方で、個人負担があつても受診率が高い自治体もある。また、個人の負担額もそれぞれ違う状況である。

個人負担については、がん検診や青年期健診・基本健診でも、費用の一部を負担していただいている。

問 未受診者対策は。

町長 再受診勧奨は、健康診査や特定保健指導の実施時期から、前半の

未受診者のみになつていく。ことし2月、健診対象者にアンケート調査を行った。今後は、先進自治体の取り組み事例やアンケート調査などを参考に、調査・研究する。また、町医師団と検討会を開催し、受診率の向上を図りたい。



40歳過ぎたら特定健診を！



舟山 彰 議員

Q 生活道路の危険データの活用を

A 交通事故削減に有効と認識している



新栄通線に設置された信号機

日本経済新聞に、生活道路での交通事故削減の国土交通省案が載っていた。その内容は、次の3つである。

- 1、交通事故多発地点の分析を行う。
- 2、急ブレーキが多い「危険個所」の調査をする。
- 3、市町村からの要望があれば、事故削減案を紹介する。

3つ目の国土交通省案は、ポールなどで道路幅を狭めることや、路面に

凹凸を付けて車の速度を落とさせることなどである。

問 町は、生活道路の危険性を分析したのか。

町長 生活道路の危険性についての科学的なデータはない。危険性に関する情報は、警察や行政区、住民から届く。

問 生活道路の危険性分析と対策を、警察とどう連携しているか。

町長 必要に応じて警察の指導を受け、当事者で役割分担をしながら対

策を検討している。

問 町として、国の分析の利用や安全対策案の活用を考えているか。

町長 町としても、交通事故削減に有効と認識している。東北地方整備局に照会したところ、県内では、まだ具体的な運用時期や方法について決定していないとのこと。もう少し時間を要するとの回答だった。



斎藤 義勝 議員

Q 第6期介護保険事業計画をどう進めるか

A 先行した自治体や近隣自治体と情報交換を行う



リハビリに励む利用者（リハビリパークさくら）

問 特養入居申し込みが、原則要介護3以上となった中で、特別な場合2以下でも可能となっているが、どういう場合か。

福祉課長 家族などの虐待により安全の確保が必要な場合。認知症の進行に伴う常時介護や、見守りが必要な場合である。

問 要支援の中の訪問介護・通所介護サービスは、平成29年度末に地域支援事業に移行する。町主体の事業になるがどう捉えるか。

町長 先行した自治体の動向や、近隣自治体と情報交換を行いながら、慎重に進めていく。

問 平成29年度の地域支援事業に1億2千500万円を予定しているが、訪問介護費と通所介護費の推定額は。

福祉課長 訪問介護費は1千200万円、通所介護費は2千万円を推定している。

問 今まで、要支援は1割負担でサービスを受けていたが、地域支援事業に移行した場合、負担率の増大が懸念されるが。

福祉課長 負担率が何割かに関する情報は、サービスを展開する事業所の経営方針や、柴田町の町民が隣接の市町村に行つてサービスを受ける場合もあるし、また、逆のパターンもあるので、一該にいいない。近隣市町村の動向なども踏まえて、利用料を設定する。



佐々木裕子 議員

Q しばた千桜橋開通後の桜まつりの状況は

A 過去最高の人出となった



しばた千桜橋より船岡城址公園を望む

問 桜まつり期間中の観光客の増減は。

町長 天候不順が続いたが、3千人増の25万1千人となった。4月12日の日曜日は、過去最高の人出となった。しばた千桜橋の開通効果と考える。

問 観光振興策の効果と、観光客の流れは。

町長 効果の物差しとして、観光物産交流館の売り上げがある。さくらの里や花菜カフェの売り上げは、前年比19割の伸び、5月も好調で38割の増となった。JR船岡駅の乗

降客数から、大河原からの観光客の多くは堤防を歩き、千桜橋を渡り、城址公園へ。帰りは、船岡駅から乗車したと推測される。

問 千桜橋や公園内外の電灯不足の対応は。

町長 ソーラータイプのライト設置で対応する。

問 船岡平和観音像の整備は、冬の強風や秋冬のイベントもあるため、早い時期に始めたらどうか。

町長 イベント間を調整し、修繕事業を進める。

問 目の不自由な方に、香りを楽しむハルメキという桜があるが、確認しているが、もう少し勉強したい。

町長 さらなる外国人観光客の誘致の対策は。

町長 桜をメインに、*インバウンド観光の体制づくりやWiFiの整備が必要である。プロモーション動画の作成にも取り組む。

*インバウンド 訪日外国人旅行のこと。



秋本好則 議員

Q 公共施設マネジメントの進め方は

A 住民意向を確認して進める



廃止？ 統合？



問 *公共施設マネジメントの目的は。

町長 目的は、人口減少や利用の変化を考慮して、適切な公共サービスの提供と財政負担の軽減を図ること。最初に住民に理解してもらおうのが大事である。秋本議員は、公共施設の統廃合を説明するのか。

問 私の考えは、自らの活動報告に書いており、この場を議論の場にしたい。町長から統廃合や長寿命化という話があったが、住民と一緒に

考えていくのが大事ではないか。

町長 国の方針は、更新、統廃合、長寿命化だが、重点を置く場所を決めてから、総力を挙げて町と町民が計画づくりをする。

問 自ら考え、得た結論で動く組織が一番強い。そのために、情報共有しなければならぬ。住民とともに、皆で納得していくために、何を考えているか。

町長 公共施設マネジメントを議論しても、集

まらない。槻木事務所を統合するという人は集まる。これが実情である。

問 持続可能な社会が目的で、統廃合が目的ではないか。

町長 シンポジウムやワークショップをして、理解を深めるのが大事と思うが、どう考えるか。

財政課長 行政内部だけの意思決定でなく、住民の意向を確認する。方法は、先進地を参考に。

*公共施設マネジメント 最大効果を最小コストで得る施設管理手法。



水戸義裕 議員

Q 土曜授業の取り組みは

A 週5日制が定着しており、今のところ検討していない



元気にドッジボール（西住小学校）

問 文科省によると、土曜授業を実施する公立小中学校は、26年度で24年度の倍の5千573校になった。全体の16・3割で、今後も拡大が予想されている。各自治体の教育委員会の判断で行えるようにした効果と見ているようだ。民間の調査で、土曜授業に賛成の理由で多いのは、「土曜授業で平日授業にゆとり確保」というものであった。本町で、土曜授業を検討したことはあるか。

教育長 学校教育法規則が改正され、教育委員会が判断により、土曜授業が可能になった。しかし、週5日制での取り組みが定着しており、検討はしていない。

問 保護者は肯定的に、職員は否定的に考える。先生に負担感があるということか。

教育長 勤務時間の調査などが荷重という実情もあり、その意味では負担ということである。

問 出雲市の小中学校では、土曜日にウィークエンドスクールを実施しているが、考えは。

教育長 全国の土曜授業のデータを見ると、年3回以下の実施が半分くらいで、実施となればスムーズに移行するように努力する。

問 実施時の問題は。

教育長 土曜授業で、子どもたちが自ら学ぶ力をどうしたら養えるか、というのが課題と思う。

問 仙台大学との連携は、地域にどのようなことをもたらしているかと捉えているのか。

町長 生活習慣病の予防や健康な体づくりなどに、積極的に協力をいただいている。大学の存在自体が、住民やまちづくりの活性剤になっている。大学、住民、役場の3者が連携したまちづくりへの取り組みは、他の自治体にはない大切な財産である。今後、なお一層の推進と充実を図るため、定期的に協議を行っていく。

問 大学と町内小中学校との連携事業を進めるときと考えるが。

町長 平日の放課後に、仙台大学の学生が各学校に足を運んでもらう「放課後先生」の活動を定着させたい。今年度は、大学と町内全ての小中学校が連携し、年間を通して15回程度行いたい。

問 放課後先生には、どのような学生が対応するのか。その人数は何人なのか。

教育長 教員を目指している学生に協力してもらう。

人数は、約150人と聞いている。

問 すでに「放課後先生」が始まっていると聞いている。全ての小中学校で進められるのは、いつごろなのか。

教育長 柴田小学校は5月末から行っており、船迫中学校は6月中旬から行う予定である。2学期には、全ての学校でお願いしたいと、今、進めているところである。

Q 仙台大学との連携事業の一層の充実を

A 「放課後先生」を定着させる



安部俊三 議員



活動が期待される「放課後先生」（柴田小学校）



桜場政行 議員

Q しばた千桜橋 グランドオープン に向けて

A 27年度の主な課題を検証し、
関係部署と協議を進める



にぎわったしばた千桜橋（4月12日）

問 桜まつり期間中の観光客は、どのようなルートで会場に向かったのか。

町長 JR船岡駅と船岡城址公園を往復した方に、アンケート調査を実施した。7割の方が、白石川堤を歩き、しばた千桜橋を渡って、船岡城址公園に向かった。

問 27年度の桜まつりの課題は。

町長 1つ目はトイレである。来年度は、旧青少年ホーム付近に女性専用トイレと、しばた千桜

橋白石川堤に仮設トイレを増設する。

2つ目は、周辺道路の混雑である。誘導員の配置を見直し、臨時駐車場と役場を結ぶバスの円滑な運行に努める。

3つ目は、JRの混雑である。列車の増便や車両の増結、船岡駅始発の下り列車の増便やJR職員の増員について、私が直接JRに出向いて要望する。

最後に食事の件である。商工会や観光物産協会を通し、しばた千桜橋付近

の白石川堤側へ販売店の出店を働きかける。内容は、飲食物の種類や数、販売箇所や日数の増加である。

問 交通渋滞解消の手段に、企業や民間の空きスペースを利用できないのか。また、千桜橋付近に、実行委員会の販売コーナーを設けては。今後の実行委員会で対応できるか、話を進めていく。

商工観光課長



平間幸弘 議員

Q 農産物直売所と 観光を結びつける 町の考えは

A 都市と農村の交流拠点と
位置付ける

町内の農産物直売所は、生産者の顔が見える野菜などを販売している。また、高齢の生産者にとって、生きがいや健康づくりにつながっている。その直売所も数が増え、今後は連携しながらの運営も視野に入れて質問する。

問 野菜など6次産業化につなげる補助制度はあるか。

町長 6次産業化ネットワークがある。県ではサポートセンターを設置し、6次産業化に取り組む生産者の相談に応じている。

また、無料で民間の専門プランナーを相談者の下に派遣する、支援体制整備事業も行っている。

問 直売所から、町に対する要望などはあるか。

町長 大きな要望では、直売所への案内板の整備や、直売所の場所、販売品目を掲載したパンフレットの作成がある。その他、要望があればいつでも相談を受ける体制はとれている。

問 直売所も含め、農村フレット整備など、今後、

観光と結びつける施策は、
国まちづくり政策課の地方創生の交付金を活用した※フットパス事業を進める中で、地域の資源を活用した小さな拠点を整備する。産直も資源になると考える。全てを網羅することほできないが、マップの作製や公共サインとは別に、案内板の整備を考えている。

※フットパス 地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと。



朝どり野菜が人気（プチ道の駅とみかみ）

一般質問



佐々木守 議員

Q 柴田さくらマラソン大会を継続していくための支援は

A 体力づくり、資金面からの側面支援をしていく



手をつないで、間もなくゴール(柴田さくらマラソン大会)

問 地域住民の声は。
白石川沿いの河川敷をスタートしたランナーたちは、満開に咲いた桜やのどかな里山の風景を満喫しながら、駆け抜けた。選手の家族や友人たちもまた桜を楽しみ、沿道では、地元住民が熱い声援を送っていた。

まちづくり
政策課長

コース上に携わってくれた各区の区長を始め、町民は、心から応援し、充実感を味わっていた。

問 柴田さくらマラソン大会を、毎年継続していくための支援は。

町長 実行委員会で継続する意思を固めてもらいたい。決定されれば、継続して大会運営ができる体制づくりや、資金面からの側面支援をしていきたい。

問 各団体への協力要請の依頼は。

町長 各団体へは、町が必ず同行して、町の協力を体制と支援内容を説明した。各団体も快く、大会への協力要請を約束し

ていただき、円滑に進めることができた。

問 毎年開催していくには、法人化も含めてしっかりした組織が必要ではないか。

まちづくり政策課長 町が主体的に法人化をするということではなく、あくまでも実行委員会が自ら法人化することである。その人的・資金的な点は、実行委員会で賄うのが本筋ではないかと思う。

子育て世代包括支援センター(日本版ネウボラ)が、全国展開に向け動き出した。ネウボラは、フィンランド語で助言の場。現地では、ネウボラおばさんとして親しまれる保健師が常駐し、親の9割が気軽に子育て相談できる場として定着している。日本版ネウボラは、母子健康手帳の交付から育児学級への参加促進までの集約した支援を切れ目なく行い、発育段階を踏まえ、支援をセンター

で行えるように調整する。そこで問う。

問 町では、妊娠期から育児まで、切れ目のない支援を行っているが、どんな支援があるのか。

健康推進課長 母子健康手帳交付時の詳細な母子健康記録の冊子を作成する。その後、3歳児健診までの健康相談記録を、予防接種歴データを含めて追加し、就学するまで保管している。

問 柴田町でも、育児まで切れ目なく支援するため、日本版ネウボラを取り入れてはどうか。

町長 柴田町で、子育てへの不安な気持ちを抱え込んだまま、母親と子どもが孤立してしまうことがないように、関係機関と連携を図りながら、支援の手を広げていく。

Q 妊娠から育児まで切れ目ない支援を

A 関係機関と連携を図り、支援の手を広げていく



有賀光子 議員



母子健康手帳の交付は、子育て支援の第一歩



白内恵美子 議員

Q 観音像の劣化診断が必要では

A 早急に安全対策を講じ安全性を確保する



修繕される船岡平和観音像

問 平成27年度予算に、船岡平和観音像修繕工事費2千230万円が計上された。観音像を町が所有した経緯について問う。

町長 柴田町出身の野口徳三郎翁が7千500万円を投じ、昭和50年に建立し、寄附された。公有財産として管理している。

問 憲法で規制する政教分離の原則を、どのようにクリアするのか。

町長 町が改修すると、憲法第20条の政教分離の原則に抵触するの、町の顧問弁護士に相談し

た。建立や維持管理に宗教団体が関わっていないこと、観音信仰を連想させるものがないこと、観光のシンボル・町の目印であることから、抵触しないとの回答だった。

問 観音像は、観光資源の位置付けなのか。

町長 観光のシンボルと位置付けている。

問 東日本大震災後にを行った、目視による点検の内容と結果は。

町長 平成23年7月に目視、25年2月と26年9月に目視と打音検査を行っ

た。一部にモルタルの表面剥離があったが、構造物に影響はなかった。

問 建設から40年経過しており、観光客が訪れる場所に劣化した構造物があるのは、危険を伴う。劣化診断が必要では。

町長 小さいひび割れしか確認しておらず、健全だと見ている。

都市建設課長 確認しておらず、健全だと見ている。



高橋たい子 議員

Q 柴田町地域づくり補助金制度の見直しは

A 交付金制度への変更を検討中



地域計画に基づいた健康づくり講座 (18B区)

柴田町地域づくり補助金は、地域計画による取り組みに対して交付されるものである。

問 各行政区からの改善要望や意見などはあるのか。

町長 申請手続きの簡素化、補助率のアップなどの要望や、事業を行うには区費の値上げが必要との意見がある。

問 戸数の多い行政区、少ない行政区での取り組み状況は。

町長 多い、少ないで、取り組みが大きく違う

というものではない。戸数が少なくても活発に活動している行政区もあり、戸数が多くても活発な活動が難しい行政区もある。参加する区民の状況にも違いがあり、地域差があるのが実情である。

問 事業を行えば行うほど、戸数の少ない行政区は、1戸当たりの負担が大きくなる。

例えば、500戸の行政区と40戸の行政区で、同金額の事業を行うとした場合、1戸当たりの負担額に10倍以上の差が生じて

くる。このことを、どのように捉えるか。

まちづくり政策課長 行政区によって1世帯の構成の違いがあることと、行政コストも人口の多少に差があるという認識はある。

問 戸数に応じた補助金の上限を、変えることはできないか。

まちづくり政策課長 次年度へ向け、地域計画に基づく事業全体に対する交付金制度に変更し、提案していく。



広沢 真 議員

Q 小規模校の今後をどう考えているか

A 今のところ、統廃合は考えていない



異学年で楽しくドッジビー (柴田小学校)

ことし、文部科学省から「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」が出された。手引では「小学校6学級以下、中学校3学級以下」の学校を、学校統廃合などで適正規模に近づけることの適否を、速やかに検討することとされている。

問 学校統廃合のメリット、デメリットをどう考えているか。

教育長 子どもたちにとって、複式学級を解消したり、多様な考えに触

れる機会が増えて思考が広がるというメリットがある。デメリットは、きめ細やかな指導の場面が少なくなるとともに、地域の活力が低下することである。

問 「手引」では、学校の適正規模として学級数、生徒児童数を基準にしているか。

教育長 文科省の通知文では、学校統廃合により魅力ある学校づくり、小規模校のデメリットの克服を図り、学校の存続する場

ある。子どもたちの声、保護者の声や地域の声をしっかりと把握し、対処していきたい。

問 小規模校は、地域コミュニティにとって必要なのだが、現時点での統廃合は。

教育長 学校は、地域にとって欠かすことのできない存在と考えている。今のところ、統廃合は考えていない。

問 消防団員不足が言われて久しい。団員募集の工夫をしては。

町長 お知らせ版での公募、各班からも呼びかけをした。仙台大学には県消防課、町、仙南広域消防と2回出前講座を行い、入団の勧誘をしたが、学生の動きがない。

問 東京では、学生の消防団活動に認証制度を取り入れ、証明書を発行し、就職活動に活用している。今は景気が良く、売り手市場だが、買い手

市場になると有利になると考える。

問 全国の消防団組織の53割に、女性が参加している。動機は、父と同じく社会貢献をしたい、町を守りたいなどである。これを参考に、女性の加入促進を図っては。

危機管理監 婦人防火クラブの方々に声をかけ、団員を増やすよう努める。

団員も多いことから、再度周知を要望する。

問 11月に会議があり、さらに徹底したい。船岡城址公園は制約があり、防火水槽などを作ってはダメなのか。

危機管理監 公園自体が町の史跡になっており、防火水槽も問題になる。

Q 柴田町にも女性の消防団員を

A 婦人防火クラブに声をかける



我妻弘国 議員



訓練に励む消防団 (5月31日)

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

平間奈緒美 議員

問 公民館図書室の活用方法として、放課後などに利用できる環境づくりをしてはどうか。

答 各公民館図書室によって、特色を持った図書を準備するのも一つの方策と考える。

吉田和夫 議員

問 しばた桜まつりのトイレ整備はどうだったのか。

答 トイレ増設の要望もあり、船岡城址公園西側の駐車場に4基を設置した。

舟山 彰 議員

問 監査委員からの指摘のあった、槻木小学校の防火扉の早急な改善はどうなったか。

答 今年度、船岡中学校の照明とともに、修繕工事を実施する。

問 花見の前に、土手や館山の犬のフンの監視を厳しくできないのかとの声があるが。

答 マナー向上のために、監視カメラ・看板設置による注意喚起などを行う。

秋本好則 議員

問 北海道伊達市では住宅の困窮度を指標化し、有効で有意義な公営住宅の提供をしていたが。

答 今は具体的に指標化をするという考えはない。ただ、参考にしていきたいと思う。

水戸義裕 議員

問 中学校の運動部指導で、教員以外の外部指導者により部活動が行われている状況を問う。

答 県教委の指導者派遣事業で4人。他に保護者や地域の方々、高校・大学の協力もある。

桜場政行 議員

問 しばたの桜100年計画の今後の活用は。

答 桜の根回りの土の入れかえ、ドウブキの保護を行い、桜の保護育成の行動計画に取り組む。

問 光り輝けしばたのイルミネーション。町はどう取り組んでいくのか。

答 住民を巻き込みながら、スケールの大きいイベントになるよう提案していく。

平間幸弘 議員

問 春の高温と少雨による農作物への被害状況の報告はあるか。

答 報告はない。高温乾燥による生理障害や害虫の発生には、関係機関と連携し対応する。

佐々木 守 議員

問 65歳以上が支払う介護保険料は、4月から値上りしたが、柴田町はいくらになるのか。

答 月額第1段階2,450円から第9段階8,330円まで、基準額では4,400円から4,900円になる。

白内恵美子 議員

問 今後の保育所が果たす役割として、経済的に困窮する家庭への支援が重要なのでは。

答 利用はひとり親家庭が多く、子育てで悩んでいる人も多い。保育所の任務は重要である。

問 近隣に頼れる人のいない家庭に対し、出産時・出産後の育児支援の実施を。

答 介護保険事業所で、保険外の子育て支援ができる所がある。今後、支援ができると考える。

問 国の「母子家庭等対策総合支援事業」を活用し、ひとり親家庭へホームヘルパーの派遣を。

答 全国的には1,500を超える市町村が実施している。事業実施に向けて努力したい。

問 ひとり親家庭と低所得世帯に対し、ファミリーサポート事業の利用料の減免を。

答 全国で約3割が減免しているが、県内ではしていない。減免できるかどうかを検討する。

高橋たい子 議員

問 フットパス事業の進捗状況は。

答 若手職員と町民、総勢20人体制で、6月中旬にプロジェクト会議を開催予定である。

広沢 真 議員

問 国民健康保険の改革で、国保税の値上げや子ども医療費助成制度の後退が懸念されるが。

答 国保税の値上げや子ども医療費助成制度の後退にならないように努力する。

我妻弘国 議員

問 千桜橋の高さは、地上から11mあり、身を乗り出すと転落する危険がある。町の考えは。

答 千桜橋高欄は、国の安全基準で設置している。景観に配慮した転落防止策を検討している。

議会からの指摘事項（所管事務調査報告書）

常任委員会レポート

各常任委員会は
各課の仕事を
調査しています。

総務 常任委員会

平成27年5月13日(水)～5月14日(木)



調査内容

- ①前年度指摘事項に対する措置状況について
- ②各課における事務事業の内容及び執行状況について

調査結果

- ◆《総務課》住民サービスの向上を目指し、より一層の職員研修の充実に努めること。
- ◆《まちづくり政策課》*マイナンバー制度は全庁をあげて取り組み、住民への分かりやすい広報に努めること。
- ◆《財政課》予算編成は、決算の分析を生かし、財政運営の方針を示すこと。また、決算分析の公表は、住民への分かりやすい説明に努めること。
- ◆《税務課》滞納対策に力を入れるとともに、納税しやすい仕組みづくりに努めること。

*マイナンバー 国民一人ひとりが持つ12桁の個人番号のこと。ことし10月から全国民に通知予定。

文教厚生 常任委員会

平成27年5月11日(月)～5月12日(火)

調査内容

- ①前年度指摘事項に対する措置状況について
- ②各課における事務事業の内容及び執行状況について

調査結果

- ◆《子ども家庭課》放課後児童クラブの受け入れは、関係課と連携を図り、早急に体制の確立に努めること。
- ◆《健康推進課》仙南夜間初期急患センターの利用者が少ないので、適切な利用の周知を徹底されたい。
- ◆《教育総務課》学力向上のため、学び支援員を町内小中学校全校に配置するよう努めること。



産業建設 常任委員会

平成27年5月21日(木)～5月22日(金)



調査内容

- ①前年度指摘事項に対する措置状況について
- ②各課における事務事業の内容及び執行状況について

調査結果

- ◆《商工観光課》柴田町ブランド品の開発は、高校、大学と連携して具体的な成果を出すよう努められたい。
- ◆《農政課》*農地中間管理事業については、町としても積極的に推進すること。
- ◆《都市建設課》町営住宅整備事業を計画する場合、人口減に向けての需給見通しを立て、総合的に判断すること。
- ◆《上下水道課》事務分掌の中に、下水道使用料徴収に関することを明記し、賦課漏れのないように努めること。

*農地中間管理事業 地域内に分散する農地を担い手へ集約し、今後10年間で担い手の農地利用が9割を占める農業構造を実現すること。

今後に課題

議会懇談会は、ことしで9回目となります。町民を対象にした「一般懇談会」を6月17日・18日に、町内の団体を対象にした「団体懇談会」を7月8日にそれぞれ開催しました。また、それに先立って第1回議員研修会を5月18日に開催しました。

一 般 懇 談 会

ことしは、懇談のテーマを「おしえてください！あなたの健康づくり」と「町政・議会全般」として、6会場において、開催しました。参加された皆様からの意見や要望の一部を掲載しました。回答は、後日になります。

参加者数は、6会場合わせて62人（前年は47人）と、前年より15人増えました。

健康づくりに関する意見・要望（抜粋）

- ☆託児付きの健康教室があれば、若いお母さんたちが参加できるのでは。
- ☆健康カードは、ポイント事業に参加した当日に、発行してほしい。
- ☆肺がんなどの集団検診の検査方法を見直せないか。

参加者が実践している健康づくり（抜粋）

- ☆ウォーキング、ラジオ体操をして筋肉を動かし、食事に気をつけている。
- ☆月に1〜2回歯医者に行き、歯の健康管理をしている。
- ☆手帳に催事をメモして、積極的に参加や見学をしている。
- ☆1週間で1冊の本を読み、毎日4キロ歩いている。
- ☆介護予防のため、ダンベル体操、脳トレなどをして、談笑している。

町政に関する意見・要望（抜粋）

- ☆しばた千桜橋がプレオープンしたが、商店街への経済効果は。
- ☆空き家・空き地の調査を依頼され報告したが、その後どうなったか。

☆町の予算で、統一的なゴミ集積所を作してほしい。

☆里山ハイキングの標示を、分かりやすいように再検討してほしい。

- ☆高齢者が増えて、介護難民が増えると思われるが、町の対応は。
- ☆プレミアム付商品券発売時の混乱は、なぜ起きたか。

議会に関する意見・要望（抜粋）

- ☆ことしも参加者が少ないようだが、参加者増を考えているのか。
- ☆子育て中の方々も参加できるようにしてほしい。
- ☆懇談会での意見に対する回答は、議会と担当課の回答を併記すべきではないか。

各会場の風景

参加いただいた方に感謝



◀槻木生涯学習センター



▲保健センター



▼船迫生涯学習センター

議 会 懇 談 会

健康づくりなどに 多くの意見

団 体 懇 談 会 【柴田町体育協会】

7月8日に、柴田町体育協会と団体懇談会を開催しました。体育協会からは高橋会長をはじめ、常任理事が参加しました。その中で、総合体育館建設に関する事項や体育協会への質問がありました。



団体懇談会の様子（船岡公民館）

総合体育館に関する事項

☆総合体育館を建設する際には、柔道場・剣道場を含め、何を指すのか、はっきりしてほしい。

☆バスケットの試合では、大河原町にあるはねっこアリーナでも狭く危険である。ぜひ、中規模プラスアルファの大きさのものを決断してほしい。

☆防災拠点ともなる総合体育館だが、武道場は避難場所にもなる。勇気ある決断を。

議会に関する事項

☆総合体育館建設に向けて、議会の受け止め方は。

☆スポーツ都市宣言をしているが、議員はどう考えているのか。

第1回議員研修会

5月18日、柴田町保健センターにおいて仙台大 学副学長 鈴木省三氏を講師に、「健康づくり」をテーマにした第1回議員研修会を開催しました。講演で先生は、健康で長生きするためには、運動、特に歩くことの重要性を力説。各関節の柔軟度を高めるため、タオルやゴルフボールを使った手軽な運動の実技がありました。参加者は、町

民・職員・他市町議員を含め86人でした。



柴田町議会議員研修会

第2回議員研修会のご案内

しばた健康づくりポイント対象事業

- 研修テーマ
「脱メタボへの挑戦！」
～第2次みやぎ21健康プランから～
- 講 師：宮城県保健福祉部長 伊東 昭代氏
- と き：平成27年8月19日(水) 13:30～15:00
- と ころ：柴田町保健センター4階会議室

皆様の参加をお待ちしています！

どなたでも
参加OK

一般懇談会

初のアンケートから

一般懇談会の参加者55人から、回答をいただきました。その結果、特筆すべきことは、次のとおりです。

- 参加者は60代で5割、70歳以上で4割であったこと。
- 初めての参加者が3割であったこと。
- 今後、取り上げてほしいテーマが、環境や介護に関するものであること。

？ なった

常任委員会での指摘事項や議員が一般質問で行う提言が町にどう反映されているかを、「追跡」というテーマで取り上げます。

今回は、船岡城址公園の整備状況と学校に配置された図書館司書を集集します。

整備が進む船岡城址公園

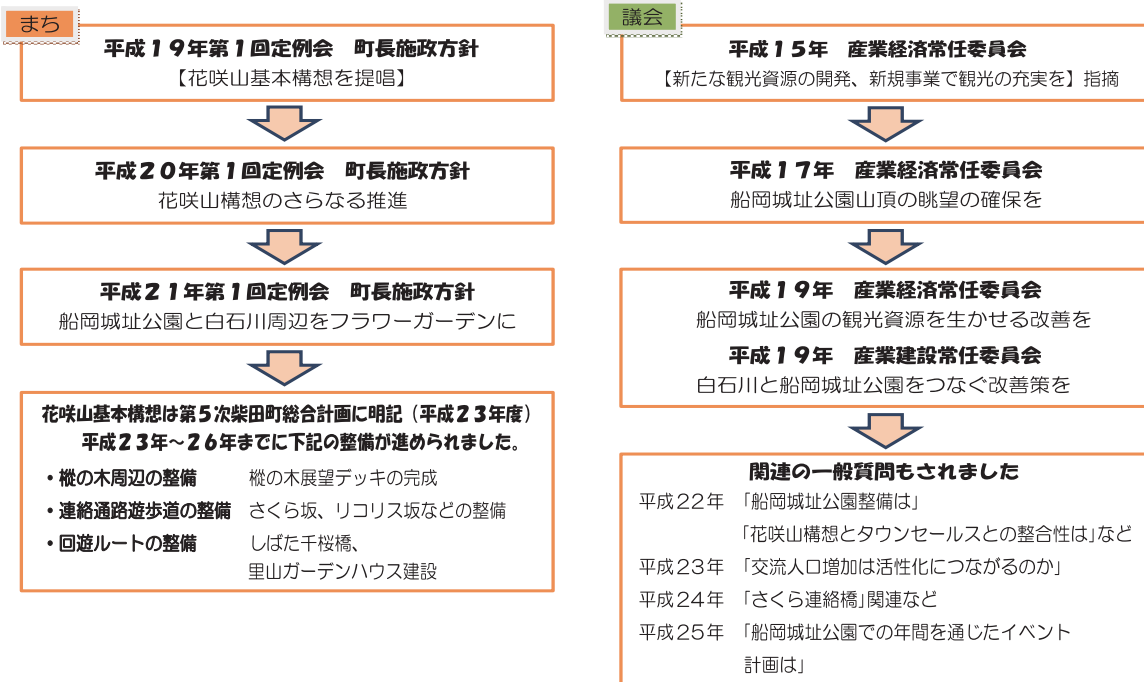
平成15年の産業経済常任委員会（当時の名称）において、「新たな観光資源の開発をすべくである。船岡城址公園などの観光拠点での新規事業に取り組み、観光の充実を図られた」と指摘しました。

平成19年第1回定例会の町長の施政方針で「花咲山構想」が提唱されました。

議会できざまな議論があったものの、下記の経過をたどり、ここ数年で整備が進み、美しくなった船岡城址公園となっています。

3月29日に「しばた千桜橋」がオープンし、また、「里山ガーデンハウス」が完成するなど、町内外から多くのお客様にお越しいただいています。

船岡城址公園整備の経過概要



一言 取材時は、あいにくの天気でした。そんな中、紫陽花がきれいに咲く船岡城址公園には、大河原町、村田町、そして、北海道から訪れている方もいました。

雨の日の紫陽花を見に来ました。花の色がとてもきれいですね。しばた千桜橋まで行きました。とても整備されていました。

船岡城址公園はきれいになりましたね。梅林の剪定のお手伝いもしました。梅の実の活用を考えてはごころでしょうか。

利用者の声

榎木在中 貝吹 勝巳さん
榎木在中 佐藤 智子さん
藤田 敏子さん



紫陽花まつりに町外から訪れた観光客



里山ガーデンハウス 船岡城址公園山頂に、トイレと休憩所を合わせた建物。

「追跡」あれはどう

司書がいる学校図書館

子どもたちの確かな学力や豊かな人間性を育むため、学校図書館の整備に努めてきました。

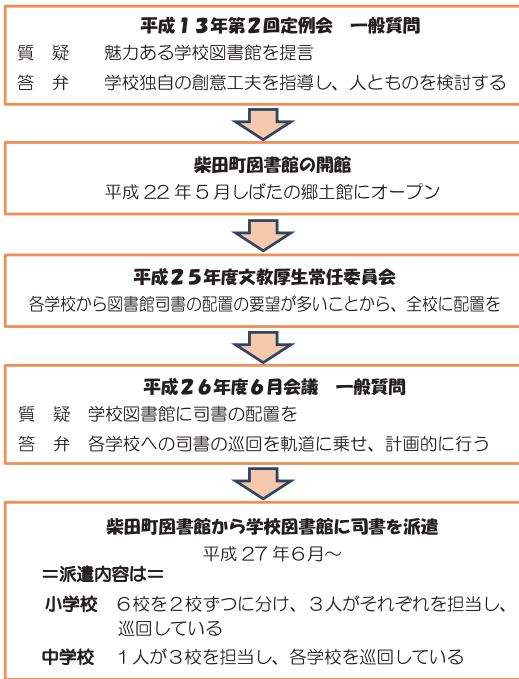
平成13年第2回定例会一般質問では、学校図書館について、平成25年度文教厚生常任委員会では、各学校に図書司書の配置について提言されています。

平成22年5月に待望の「柴田町図書館」が、しばたの郷土館に設置されたことにより、司書が採用されました。現在では、

任期付司書も採用しています。それにより、学校図書館への司書の配置が可能となりました。

平成27年6月からは、各学校に週1～2日、司書が配置されるようになりました。

学校図書館司書配置の経過概要



図書館司書 佐藤さん
 佐藤さんは、町内3中学校の図書館を回っています。

取材日の7月3日は、船迫中学校の担当でした。佐藤さんは、「司書は、本の貸し出しだけでなく、環境づくりも大切な仕事の一つです。3校の個性を生かし、学校との連携をとりながら、生徒が過ごしやすい空間づくりに取り組んでいきたいです」と、熱く語っていました。



役割が大きい図書館司書

利用者の声

船迫中学校の生徒に聞きました

◎司書がいることで、図書館の雰囲気が変わったと思います。

◎スポーツの本がたくさんあるということです。

◎図書館の雰囲気が、以前と違い良くなったと思います。

◎司書がいるだけで、すごく安心します。

◎毎日利用しています。

一言 休みに、多くの生徒が図書館を利用していました。

司書の佐藤さんがいるだけで、温かい雰囲気に包まれているようでした。



利用者が増えた学校図書館（船迫中学校）

インタビューにご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

あなたの一言



さとう えり
佐藤 恵理さん
(船岡字新生町 在住)

●柴田町に住んで良かった点は

縁あって、5年前に大河原町より引っ越してきました。小さい子どもがおり、近くの公園を利用しています。自然豊かで空気がよく、満足しています。

●柴田町の好きな風景・場所は

近くに流れる白石川。毎日眺める蔵王の山々。特に春は、白石川堤防に咲き誇る桜が見事です。

●柴田町に何を望みますか

子どもがまだ小さく、元気にのびのびと育っていただけるような教育環境や、通学路の安全対策をお願いします。人口減少は避けて通れません。未来を託す大事な人材を、みんなで明るく朗らかに育てていきたいと思えます。

●議会だよりを読んでいますか

よく読んでいます。議員の方々がどんな提言をされているのか、興味があります。また、子どもたちの写真も多く、特に笑顔がいいですね。

●議会・議員に望むことは

議会で質問や要望をしたことを、もっと具体的に地域に報告していただければ、地域の活性化にもなると思います。私たちの代表であることを自覚して、頑張ってください。

■議会から一言

議会にもっと関心をもっていたら、ただのよう、各議員が努力してまいります。

未来へ向けて

表紙について

船岡中学校は、団体5種目で県大会出場を果たしました。

暑い中、県中総体に向け、必勝を願って練習に励む姿は、私たちに元気と勇気を与えてくれました。

他の中学校でも県中総体に出場しましたが、紙面の都合で掲載できませんでした。お許しください。



船岡中学校女子バレー部

このほか議会だより149号は、15,500部作成しています。1部当たりの経費は約31円です。

◆編集後記◆

議会広報常任委員会では、6月23・24日に、山形県庄内町と大石田町へ、議会広報の先進地視察研修に行きました。

両町議会とも、全国町村議会広報コンクールで数々の賞を獲得しています。見出しで記事の7割を伝えられるような工夫と、住民が知りたい情報をホットな状態で届ける体制づくりなど、編集に当たる委員の気概を感じ、大変参考になりました。

私たち委員も、読みやすく、分かりやすい紙面を目指し、これからも研鑽を重ねてまいります。

これからも暑い日が続くと思いますが、読者の皆様には暑さ対策は万全でお過ごしください。

議会広報常任委員 平間 幸弘

ぜひ、議会の傍聴を!!

9月会議は

9月7日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は

9月7日(月)・8日(火)・9日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

町ホームページ 本会議審議等結果 各種会議の出欠状況を掲載

町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町議会 議会だより」「議会のうごき」に、委員会・全員協議会の出欠状況を掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください